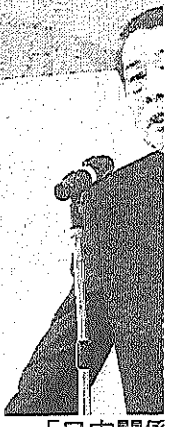


山陰合同銀行(松江)が1日、兵庫県川西市に「阪神北支店」を開設した。同行は中期経営計画(2012~14年)で兵庫県内に3カ所程度の支店を新規出店し、法人融資を強化する方針を打ち出した。

「メガバンクに対しては、地域の中小企業に対する手厚いケアで対応する。信用金庫にはM&Aや海外展開などのノウハウで強みを強化する狙いは。」

「兵庫県南部には既に6店を出店しており、法人融資を積み上げてきた。(現在は)他の金融機関との競争にどう対応するか。」

「第一の営業基盤という強い思いで出てきている。地元での法人融資と同様、常に(顧客の元)足を運び、課題に真摯に向き合い、われわれのできることをする。リレーショナルシップバンキング(地域密着型銀行)を展開し、兵庫県で存在感のある銀行を目指す」



「日中関係」が重要と見做す

中国との付き合い方を解説 米子で本間正明氏講演 鳥取県西部の経済人をつくる高橋経営研究会(笠井商工会長)が1日、米子市内で開かれた。近畿大学世界経済研究所の本間正明所長が「海外から見た日本の現状」と題して講演。沖繩県の尖閣諸島の国有化に端を発する日中関係問題について「中国と日本は互いに大切なパートナーである」ということを日本政府は自覚する必要がある」と述べた。

ともフラストレーションがたまっている中、尖閣問題はあまりにもタイミングが悪い」と日本政府による国有化を批判した。 「中国とどのように付き合っていくかが今後の日本の課題」と指した上で「日本政府は主張すべき点は主張しながら関係修復に努めなければならない」と指摘した。



政策パッケージの内容などを説明する 井内参事官(右から2番目) 鳥取市富安2丁目の鳥取第1地方合同庁舎



今回は22日に掲載予定です。

### バブルとチャリティ 経営革新のカタチ

森の国(伊沢大介社長)は、1978年5月創業。県道米子大山線(通称・大山観光道)に沿いに位置し、西が、東日本大震災以降、日本最大級となる6万平方メートルのフィールドアスレチックなど広大な施設を有している。また、シャワークライミングやブナの森ハイク、ダウンヒルサイクリングなど、自然を生かした幅広いプログラムをファミリー層を中心とした観光客に提供してきた。

## プロジェクトアドベンチャーの考え方を導入 森の国(大山町、伊沢大介社長)



このプログラムは、とがうまく運ぶように従来の体験ツアーとは違い、プロジェクトアドベンチャーと呼ばれ、大限尊重し、その役割

チームワーク向上や職場の活性化に、冒険教育を担うファシリテーターの考え方を、シャワークライミングやブナの森ハイクに、ファシリテーションの要素を組み合わせ、新入社員研修や幹部研修、人事異動時の適正配置の参考になると定評があり、現在は観光客のみならず、各企業からの問い合わせが増加しており、今後の展開にも期待が高まって